

## -11 景観への配慮

周辺の河川景観との調和を図るために、景観に配慮された事例がある。

### 大雪頭首工

#### ～自然石及び植栽による景観への配慮～

地 域：北海道 石狩川 大雪頭首工魚道（多自然型魚道、延長 259.22m、勾配 1/220、幅員 1.6～3.2m）

施 工 時 期：平成 14 年（事業者：国土交通省 北海道開発局）

原理（考え方）：この魚道は自然石を用いて多自然型とし、ヤナギを植栽している。このヤナギにより周辺景観との調和を図るとともに、温度上昇の緩和（日射による表面温度の上昇を緩和する）に配慮している。

特 徴 と 留 意 点：自然石を用いる場合は水位変動によって流況が乱れやすく、また、自然石が洪水等により流出しやすいため、留意が必要である。石の組み方によっては魚の遡上経路に剥離した越流が生じる場合があるため、留意が必要である。



出典) 石狩川魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業 技術レポート

### 蓬沢第2砂防堰堤

#### ～自然石による景観への配慮～

地 域：新潟県 魚野川 蓬沢第2砂防堰堤魚道（全段面粗石付斜路式魚道、延長 33.0m、勾配 1/5、幅員 2.5～6.8m）

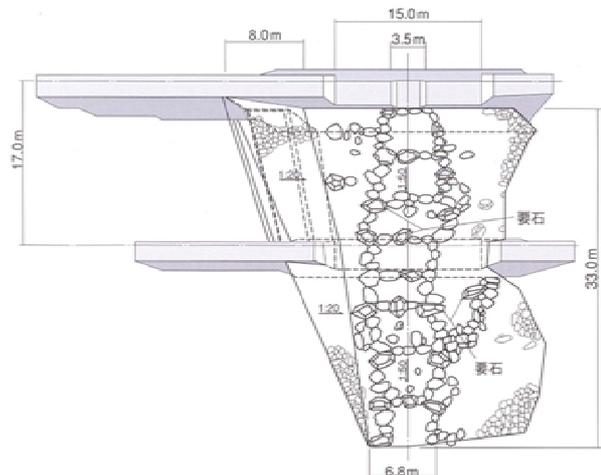
施 工 時 期：平成 10 年（事業者：国土交通省 北陸地方整備局）

原理（考え方）：堰堤が位置する渓流の景観との調和を図るため、自然石を多用した魚道が施工されている。

特 徴 と 留 意 点：自然石を用いる場合は水位変動によって流況が乱れやすく、自然石が洪水等により流出しやすいため、留意が必要である。また、石の組み方によっては魚の遡上経路に剥離した越流が生じる場合があるため、留意が必要である。



出典) 魚道事例集 魚がのぼりやすい川づくり



ゆふねざわとこがためこう

### 湯舟沢床固工 ~擬岩ブロックによる景観への配慮~

地 域：岐阜県 木曽川水系湯舟沢床固工魚道（階段式魚道、延長約 29m、勾配 1/9、幅員 10m）

施 工 時 期：平成 11 年（事業者：国土交通省中部地方整備局）

原理（考え方）：魚道の素材に擬岩ブロック（天然石から起こした型枠を使ったコンクリート製ブロック）を用い、周辺景観との調和が図られている。

特 徴 と 留 意 点：上流側の水位変動やブロックの形状によっては魚の遡上経路に剥離した越流が生じたり、流況が乱れる場合があるため、留意が必要である。



#### -12 鳥害や人害への対応

魚道には魚が集中するため、魚食性の鳥類の餌場となる場合が多く、かなりの食害を受けることがある。また、魚道内で人間が魚釣りをする等、人間が魚へ影響を及ぼす場合もある。

ながらがわかこうぜき

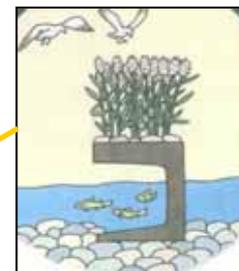
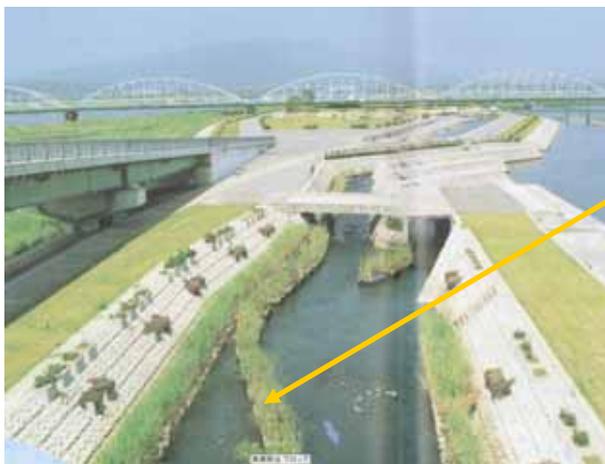
### 長良川河口堰 ~鳥害防止ブロックの設置~

地 域：三重県 長良川 長良川河口堰魚道（せせらぎ魚道、延長約 320m、勾配 1/80、1/347、1/110、幅員 15m）

施 工 時 期：平成 6 年（事業者：水資源機構 中部支社）

原理（考え方）：魚道内にU字型の鳥害防止ブロック設け、ブロック下に鳥からの避難場所が創出されている。

特 徴 と 留 意 点：ブロックが流出しないように固定する必要がある。



出典）長良川魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業 技術レポート

かめづとうしゅこう  
亀津頭首工 ~ 魚道隔壁・側壁の高さの調整による鳥害対策 ~

地 域：広島県 沼田川 亀津頭首工魚道（アイスハーバー式魚道、延長 19.7m、勾配 1/10、幅員 1.0m）

施 工 時 期：平成 14 年（事業者：広島県）

原理（考え方）：魚道側壁及び隔壁の高さ（水面からの距離）が、鳥類による食害を防ぐために 60～75cm とされている。これは、大型のサギ類（ダイサギ、アオサギ）でも、採餌時に嘴が届く範囲が 50cm 程度と考えられているためである。

特 徴 と 留 意 点：全国的にも珍しい事例であり、今後の効果検討が必要である。



水面からの高さが 60～75cm に設計されている

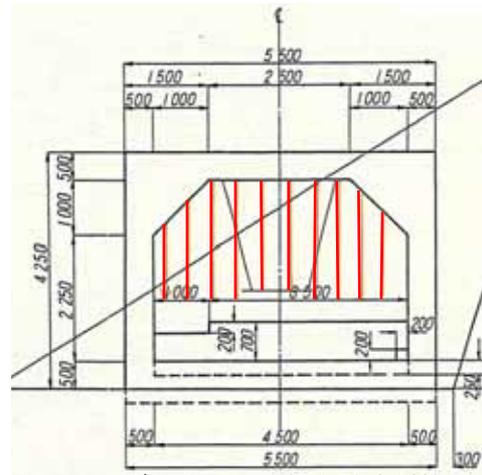
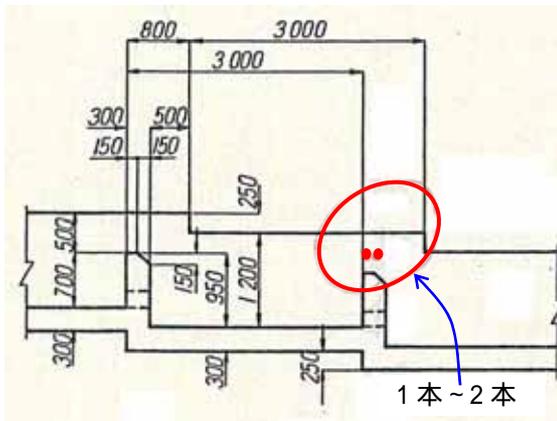
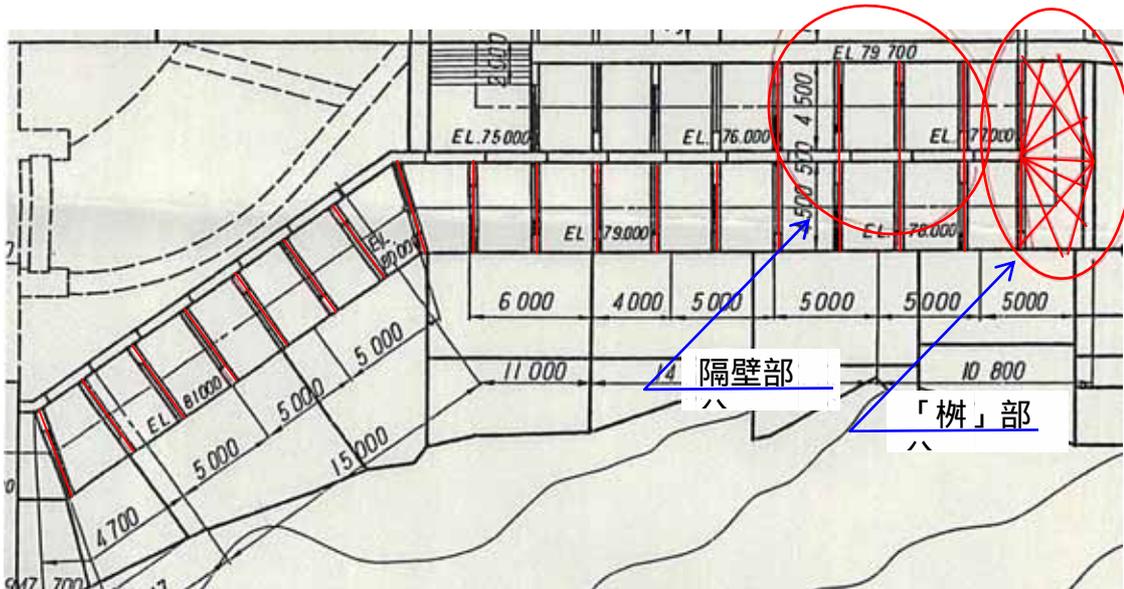
出典) 沼田川魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業 技術レポート

いけだ  
池田ダム ~釣り糸による鳥害(カワウ)対策~

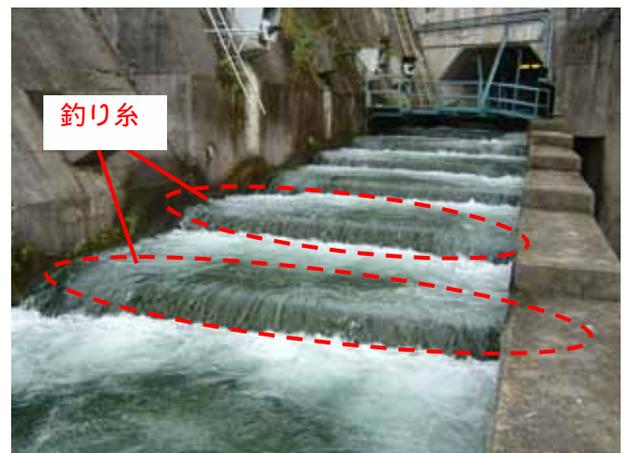
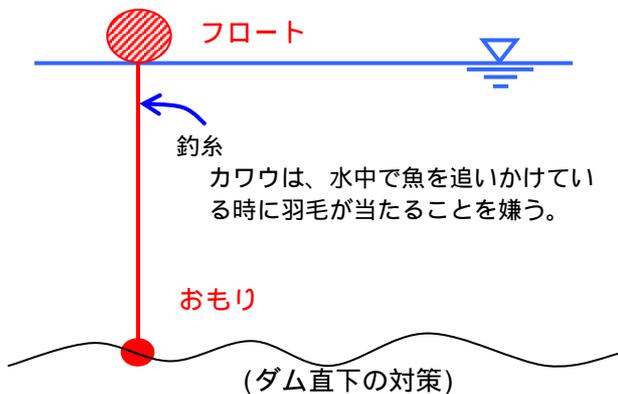
地 域：徳島県 吉野川 池田ダム魚道(階段式魚道、延長 164.75m、勾配 1/14.3、幅員 4.5m)

事 業 者：水資源機構 関西支社

原理(考え方)：カワウによる魚道内の魚の食害を防止するため、カワウが隔壁に留まることができないように、また補食した時に首部分の羽毛が釣り糸に係ることをカワウが嫌うため、下図のように釣り糸が設置されている。



(ボックスへの侵入防止対策)



出典) 吉野川魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業 技術レポート

かまにわだいいちとこども  
鎌庭第一床止

～側壁の形状による釣り人対策～

地 域：栃木県 鬼怒川<sup>きぬがわ</sup> 鎌庭第一床止魚道（階段式魚道）

事 業 者：国土交通省関東地方整備局

原理（考え方）：魚道へ釣り人が入ることを防ぐため、魚道側壁の天端形状を山型とし、人が立てない構造とされている。

